

海況情報

平成元年3月30日

北海道立水産試験場

3月(中・下旬)の海況

石狩湾以北の日本海において春ニシン産卵前期群漁場環境調査を実施し、オホーツク海において流水接岸前に海洋環境調査を実施することができました。また、太平洋海域においても新種プランクトン広域分布調査等に関わって海洋観測を実施しました。
これらの調査の結果について、一部その概要をお知らせします。

〔日本海〕
沖合域の表層～50m層では、積丹沖で6℃台、石狩湾中央部～天売・焼尻沖までは5℃台、それより以北はほぼ4℃台となりました。しかし、沿岸域表層では沖合より低水温となっており、石狩湾東部～留萌沿岸で4℃台、天塩以北沿岸で3℃台を示していました。100m層では、北部沖合～武蔵堆西沖にかけて2℃台の冷水が南下していました。

なお、余市前沖における旬平均沿岸水温は1月下旬以降 ± 0.2 ℃以内で平年並に推移しています。

〔オホーツク海〕

表面水温は宗谷海峽東では3℃台でしたが、紋別以南では沿岸域でもマイナス水温(沖合はマイナス1℃以下)で、水温からみるとまだ冬の海となっています。50m層でも宗谷海峽東～枝幸海域では3℃台ですが、沖合域～網走沿岸ではマイナス1℃以下となっていました。

〔太平洋〕

日高沿岸～道東沿岸域の表層水温は0℃台の低水温を示していました。尻屋崎沖では、表層～50m層まで3～4℃台を示していました。

〔日本海～オホーツク海域の流況〕

特徴点として、石狩湾～留萌沿岸海域では非常に弱い流れとなっていました。また、宗谷海峽東では西向きの流れが認められました。なお、オホーツク海紋別以東海域では非常に強い流れがありますが、当時西～北寄りの風が強く(15m前後～20m近い強風)、その影響もあったかもしれません。しかし、北見大和堆付近では西向きの流れが認められています。

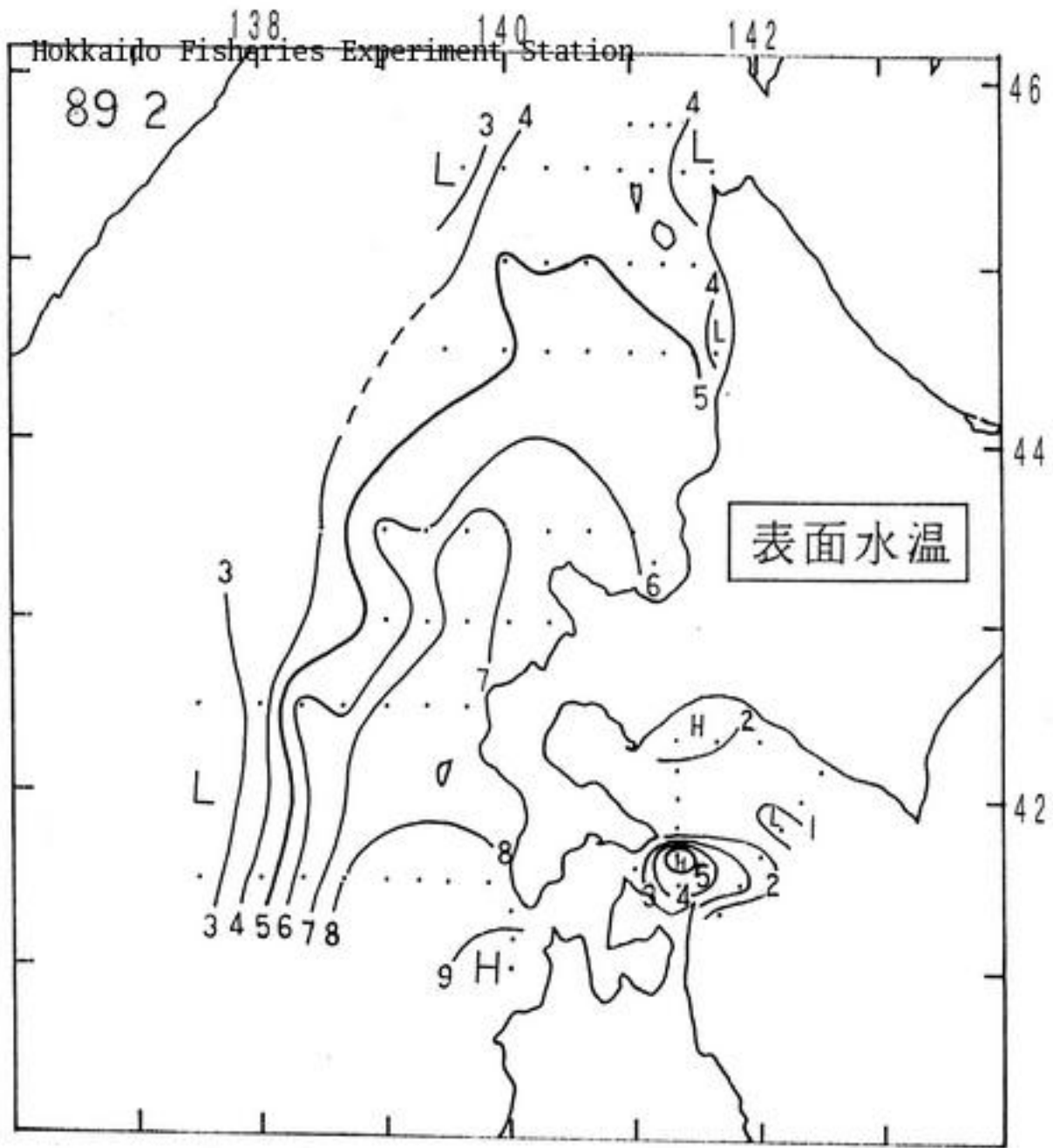
〔日本海～オホーツク海域の透明度〕

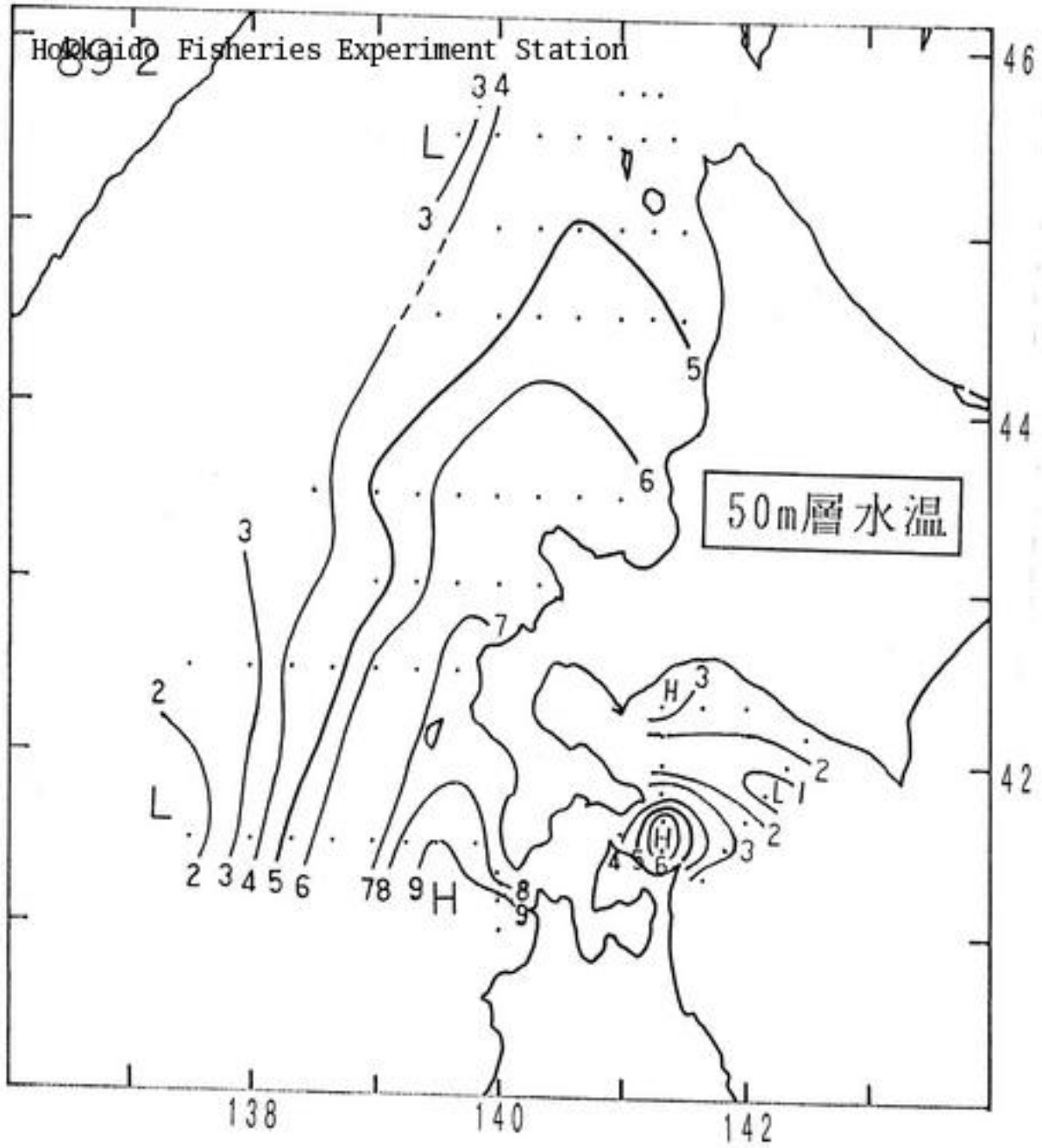
特徴点として、石狩湾と稚内沿岸では10m以下(特に、浜益沖では7m)でしたが、積丹沖では最高の20mを示していました。オホーツク海では、特に枝幸海域で春さき透明度が非常に悪くなります(時に2～3m)が、今回は15mくらいとなっていました。

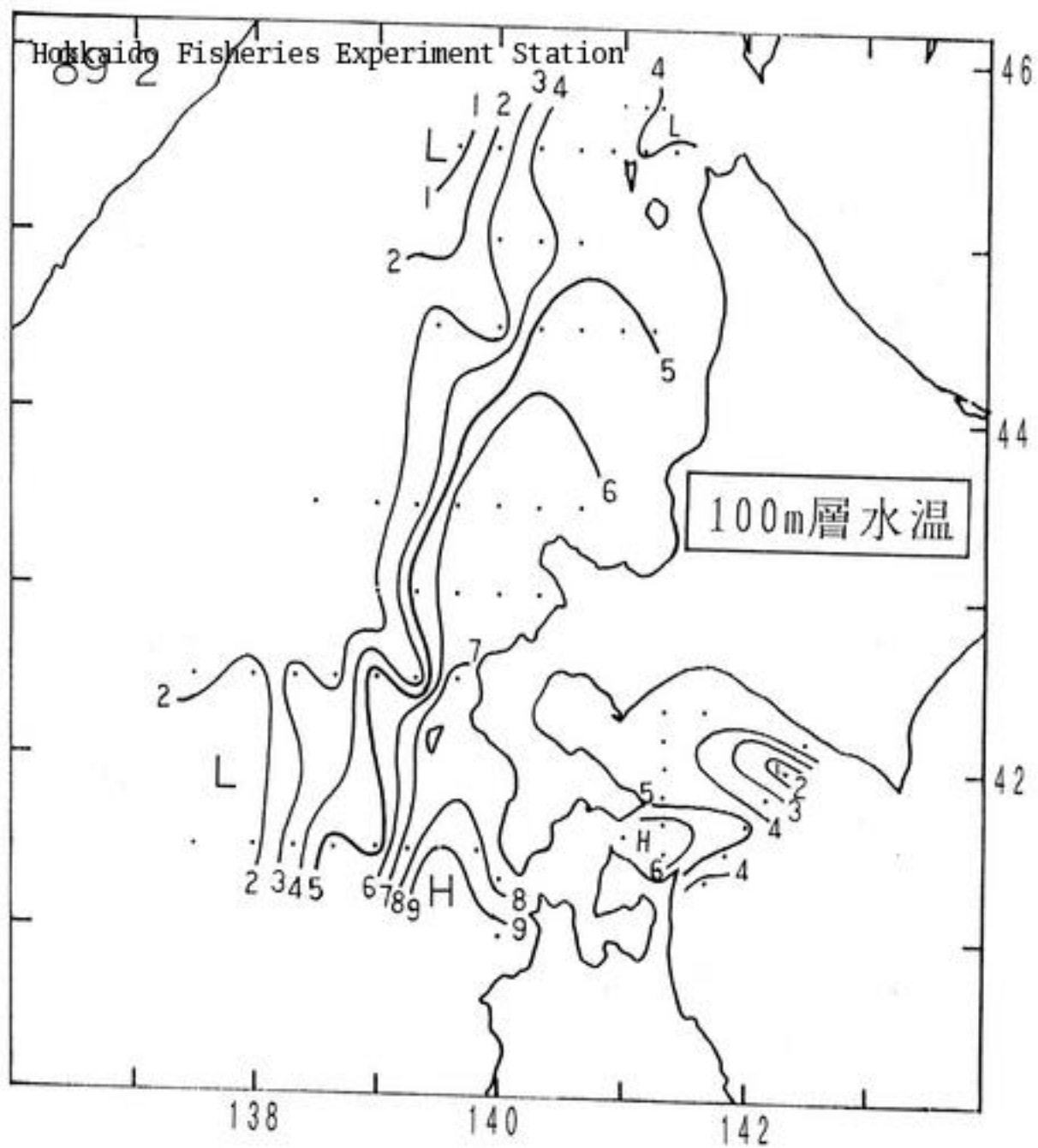
資料出所(観測期日)

日本海	中央水試(おやしお丸)	3.13-15
	稚内水試(北洋丸)	3.14-15
オホーツク海	中央・稚内水試(おやしお丸)	3.16-17
太平洋	釧路水試(北辰丸)	3.22-23

(中央水試 海洋部)







Hokkaido Fisheries Experiment Station

892200

200m層水温

